

公共交通座談会 意見要旨

- 開催日時：平成27年1月26日（月）・27日（火）
- 場 所：8会場
- 参 加 者：延べ186名
- 説明内容：別紙の説明資料のとおり

参加者からは、本計画に対する前向きな意見を多く頂いた。また、予約型乗合タクシーの具体的な利用方法に関する質問が多く、座談会で挙がった主な意見や質問を以下に整理する。

計画全般について

- ・いまは自動車を使っている人が多いが、これからは、免許を更新できなくなる人、足腰が悪くてバス停までも行けない人が増える。そうした人達のことを一番に考えてもらいたい。
- ・バス停までタクシーを使っている人もいる。家から近い場所で乗れると大変よい。
- ・みなくるバスのように、定期的にぐるぐる回ってくれるバスであればわかりやすい。
- ・路線バスに使っている財源で、無料で町内を回るバスを入れられないか。
- ・産交バスの車両を小型化して、経費を削減して路線バスを残せないか。
- ・予約型乗合タクシーを導入したとして、町の財源はよくなるのか。

予約型乗合タクシーについて

- ・足腰の悪い人が多く、何度も乗り換えるのは無理。直接、水俣や芦北まで行けるようにならないか。
- ・総合医療センター以外にも、水光社や新水俣駅などにも停まるようにしてほしい。
- ・町内の利用で500円以内は高い。できるだけ安く、または路線バスと同じくらいの水準にしてほしい。
- ・手を挙げれば乗せてもらえるようになれば、高齢者がより利用しやすくなり、身近に感じられる。
- ・お盆や年末の帰省時など、町外の人でも使えるようにしてほしい。
- ・会員制にして、登録時にお金を支払い、あとは無料というシステムはどうか。
- ・使ってみなければ分からない。徐々に良くなっていけばよい。
- ・予約が一人でも運行してもらえるのか。
- ・予約はどのくらい前にするのか。どこに電話するのか。
- ・予約が殺到した場合の対応は。
- ・運行時間は。
- ・町内は、どこで乗ってどこで降りてもよいのか。
- ・行き予約はできるが、帰りは時間が読めず、予約しにくい。特に病院は、予約していても診察時間がまちまちで、薬待ちの時間もあり、何時に終わるかわからない。
- ・足腰が悪く、バス停まで出るのに時間がかかる。予約した時間に間に合わない場合は待っていてくれるのか。
- ・運行事業者はどうやって決めるのか。いつから運行を始めるのか。